

次年度への引継事項

【運営面での問題点・引継ぎ事項】	
問題点 1	ホームページ運用について
引継ぎ 1	今年度はホームページ内の編集を委員会メンバーで行う形をとりましたがホームページ編集に関しては少し専門的な知識とある程度の慣れが必要だと感じました。メンバー全員が編集できるように教育するのではなく一定の人数に絞り、専門的な指導を受ける形をとった方が良いと感じました。今年度はメンバーの竹原沙織さんに編集の仕方を ZOOM により指導していただいたので次年度も早い段階でそういう場を設けた方が良いと感じました。
問題点 2	広報誌運用について
引継ぎ 2	年 4 回ではあるものの気が付くとあっという間に準備期間に入るのでできることなら年初にある程度構想を立てておくことがない。各記事の原稿を担当委員長にお願いする際も事業前にあらかじめ相談しておき事業後にすぐ記事を書いてもらう形が一番良いと感じました。担当委員長も事業後すぐの方が記憶も鮮明でスムーズな記事を書けます。
問題点 3	SNS 運用について
引継ぎ 3	SNS 媒体が増えてきた昨今、主流になる媒体を押さえることが必要。宮崎青年会議所もいくつかの SNS を管理しているが全部を均等に運用するのではなく主流になっているものに絞った方が良いと感じました。その中でも Instagram が一番発信力には優れていると感じます。Facebook と連携して投稿、管理できるので Instagram と Facebook に絞っての情報発信していく方がスピーディーかつ質のいい発信ができると感じました。
【予算面の問題・引継ぎ事項】	
問題点 1	広報誌について
引継ぎ 1	シニアクラブからいただいている会費の一部に広報誌の発行費も含まれているため広報誌の内容はしっかりと構築する必要がある。特に一回目となる春号は新役員の紹介などを載せたいと思いますがそれ以外の事業記事をしっかりと書いた方が良い。メンバー紹介系の記事より事業報告記事をメインで構築したほうが良いと感じました。